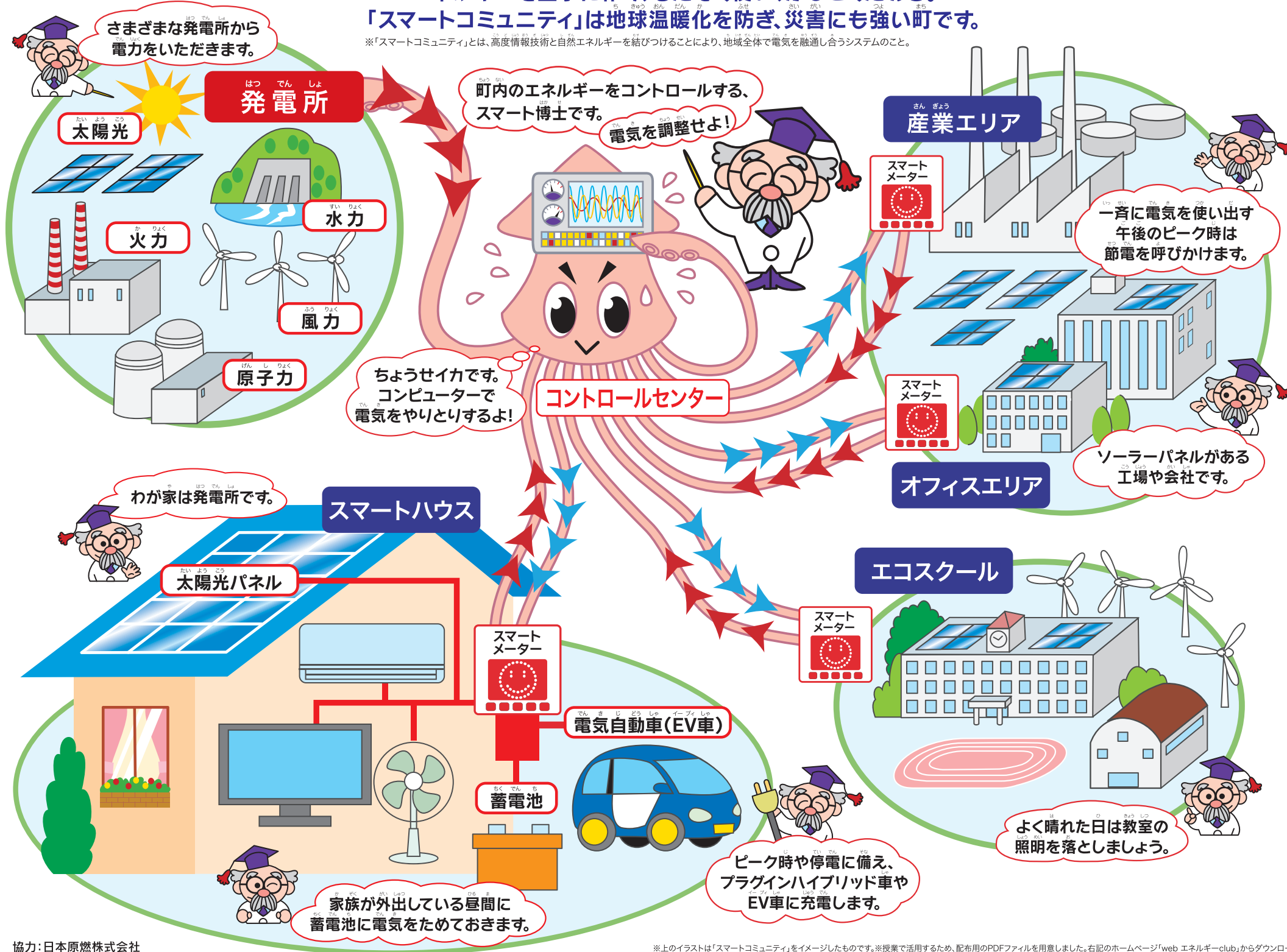


エネルギーを **作る** ⇄ **使う** ⇄ **ためる**

エネルギーを上手に作り、むだなく使い、かしこくためる。
「スマートコミュニティ」は地球温暖化を防ぎ、災害にも強い町です。

※「スマートコミュニティ」とは、高度情報技術と自然エネルギーを結びつけることにより、地域全体で電気を融通し合うシステムのこと。



協力：日本原燃株式会社

※上のイラストは「スマートコミュニティ」をイメージしたものです。※授業で活用するため、配布用のPDFファイルを用意しました。右記のホームページ「web エネルギーclub」からダウンロードできます。http://aomori-energyclub.com/web エネルギーclub 検索



青森県でも展開！ 「スマートコミュニティ」

風力発電導入量が国内最大の六ヶ所村では、大規模蓄電池を併設した世界初の風力発電で、二酸化炭素を排出しない「スマートコミュニティ」の実証実験を展開(2010年9月～2012年7月)。尾駈レイクタウン北地区には「スマートハウス」6棟が建設され、8台のプラグインハイブリッド車が走り、太陽光発電も設置されました。また弘前市でも、エネルギーを市全体でマネジメントする「ひろさきスマートシティ構想」が進められています。



写真/六ヶ所村スマートグリッド実証実験

「スマートコミュニティ」のしくみ

- 会社、工場、学校、家庭が、ソーラーパネルや風力を利用して電気を作り、使い、蓄電池にためます。電気が余ったときは電力会社に買い取ってもらい、足りないときは電力会社に調整してもらいます。
- 各エリアの発電量や電力消費量は「スマートメーター」によってコントロールセンターにデータで送られ、電気を使いすぎているところには節電を呼びかけます。
- 蓄電池やプラグインハイブリッド車、電気自動車にためられた電気は、ピーク時の二次電源や災害時の非常用電源としても役立ちます。

新時代の電力計「スマートメーター」

- 「スマートメーター」には、家庭や会社などの電力使用状況をリアルタイムでコントロールセンターへデータ送信する機能があります。
- データのやりとりによって、家庭や会社のパソコンで電力使用量が見えるため、節電効果に力を発揮します。
- 毎月の検計にかかっている人件費も節約できます。

あなたの町にあるスマートハウスやプラグインハイブリッド車(PHV車)・電気自動車(EV車)のある家を探してみましょう！
また、スマートハウスはどうして災害に強いのか話し合ってみましょう。

問題